

第 403 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 6 年 7 月 2 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX MOVE ON
[放送日時] 令和 6 年 6 月 24 日(月) 15:08～18:55
[出演者] 江間 丈 川崎 玲奈
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 服部乃利子
委員 加藤裕治 委員 小野晃司
委員 土屋維子
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明

5. 事務局報告 ○ K-MIX の上半期の状況と全国の放送局の決算の傾向の報告

6. 番組審議

- [番組名] K-MIX MOVE ON (月・火)
- [放送日時] 令和 6 年 6 月 24 日(月) 15:08～18:55
- [出演者] 江間 丈 川崎 玲奈
- [番組内容] 番組タイトルの” MOVE ON” には、
「先へ進む」「次へ進む」に加えて、気持ち
「前に進む」という意味を込めた。K-MIX と聴取者、
聴取者と聴取者が同じ時間を過ごしていることを
実感し、気持ちを共有・共感できる、楽しくも
心地よいプログラム。静岡市の新静岡セノバにある
サテライトスタジオからの公開生放送。
地域密着の“ずっと先よりちょっと先”の情報、
番組こだわりの音楽、そして、1 日の疲れや
悩みが吹っ飛び、明日への活力につながる“笑い”。
番組のテイストは月・火と水・木で分けて、
習慣でお聴きのすべての聴取者に 2 倍お楽しみ
いただけるように設定。パーソナリティ陣は、
信頼される確かなパートナーとして、聴取者の
マインドをポジティブに変換し、生活を彩り
豊かに。「先へ進む＝何か新しいことを始める」
K-MIX の“今”のメッセージを発信していく。

[聴取・合評での主な意見]

土屋委員

今年度に新たに組まれたコンビがおとなしく感じる。
昼時の放送にありがちともいえる淡々と番組を進行
するタイプの番組に落ち着いており、トーク内容が耳に
残らないこともある。会話の時にもう少し、お互いに踏み
込んだトークをしても良いのではないだろうか。

小野委員

新パーソナリティコンビになって、以前とのトークを比較
してしまう。昨年度は、パーソナリティに年齢差もあり、
番組開始直後は強引な所も感じたが、切れ味は鋭かったと
思われる。一方で、今年のコンビは、年齢差もわずかなので、
同世代トークとなり、マイルドな展開ではある。

江間さんのトークは、K-MIXでも例のない声なので
フレッシュさを感じ、これから様々なコンテンツが期待できる。
もう少し、ゆっくり丁寧な口調を取り入れると良いのでは
ないだろうか。各コーナーに登場されるスポンサーのお店の
方のトークが上手く、効果が出ていると感じる。

加藤委員

番組全体は、落ち着いた雰囲気を醸し出している。
昨年の番組は、パーソナリティそれぞれが、一步踏み込んだり、
聴取者のメッセージにも意見を挟んでいたが、今年の番組では、
聴取者のメッセージに踏み込むことが少ない。このことが、今の
“ラジオの表現”にどう影響してくるのかが興味深い。
パーソナリティ双方、また、聴取者に、「質問や疑問を語らせて
あげる」ともう少し、番組やトークの幅が広がるのではない
だろうか。スポンサーのお店の方の、良いキャラクター、
効果的なトークも活かすことができると思う

服部委員

江間さんのソフトな語り口は、夜のゆったりした雰囲気が合うように感じた。また、川崎さんの切れの良い滑舌は好感が持てる。長い放送時間のどこから聴いても、違和感なく聴くことができる良さがある番組。スポンサーの方が出演されるコーナーはメリハリと明るさがあって、聴いていて面白い。番組内の多くのコーナーは楽しく聴くことができるが、江間さん、川崎さんそれぞれのトークが立っている感じがするので、次は、お二人の掛け合いの良さがプラスされるとさらに番組の価値が上がると考えられる。

木宮委員長

K-MIXのフラッグシップとなる番組の一つであり、その分、ハードルが高く設定されている番組。当然、パーソナリティが変更されれば、前任者との比較がなされる。その観点から見ると、江間さんのトークの手法の一つが、実況的に瞬時に言葉を発することなので、トークの最中に話す相手を感じることができない場合がある。また、文末の言葉が曖昧になる事もある。この辺りは、今後、改善できる余地があると思われる。

番組全体については、昼時、仕事中の流し聴きにはふさわしいが、面白味、ダイナミックさには、少し欠ける。番組に面白味をつける事が、今後の課題である。

会社サイド

この時間帯は、朝と並んで、高い支持を得られる時間でもあり、フラッグシップ的な番組と位置付けている。イメージしている番組の雰囲気もだんだん出てきている。新コンビ開始当初の4月に比べるとトークの掛け合いには慣れて来ている。これからもいろいろなご意見をいただきながら、番組の良さを積み上げて行きたい。

以上

次回開催日 令和6年9月3日(火) 11:00～13:00を予定

番組審議会委員長
木 宮 敬 信